



育てよう和歌山県の子どもたちを!

「確かな学力」を育むための家庭での実践

平成21年度全国学力・学習状況調査の結果から



学力の状況

和歌山県(公立)の平均正答率と全国(公立)の平均正答率との比較 (単位は%)

教科	小国A	小国B	小算A	小算B	中国A	中国B	中数A	中数B
県	69.8	48.4	79.4	53.0	74.9	70.7	63.1	56.0
全国	69.9	50.5	78.7	54.8	77.0	74.5	62.7	56.9
差	-0.1	-2.1	+0.7	-1.8	-2.1	-3.8	+0.4	-0.9

- 小学校6年算数A、中学校3年数学Aは全国よりやや高くなっています。
- 特に小学校6年国語B、中学校3年国語A・Bに課題が見られます。

※ 全国学力・学習状況調査は、小学校6年生、中学校3年生を対象に実施しています。
 ※ Aとは、主として「知識」に関する問題、Bとは、主として「活用」に関する問題のことです。

このリーフレットは、平成21年4月21日に実施された全国学力・学習状況調査の結果から、和歌山の子ども一人一人の確かな育ちのために、ご家庭で参考にさせていただきたいことをまとめたものです。内容は以下の4点です。

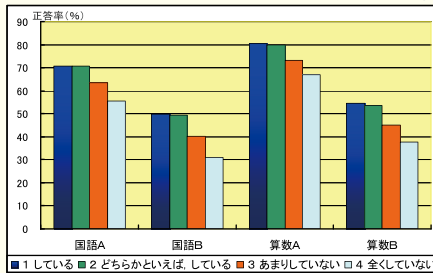
- ①規則正しい生活を送りましょう。
- ②家庭での学習習慣を身につけましょう。
- ③テレビやゲームの時間を減らし、本に親しみましょう。
- ④子どもとの対話を大切にしましょう。

考えてみませんか?
 子どもの生活を

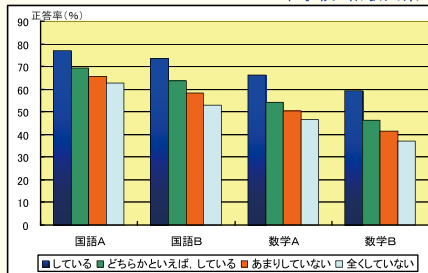


1 規則正しい生活を送りましょう。

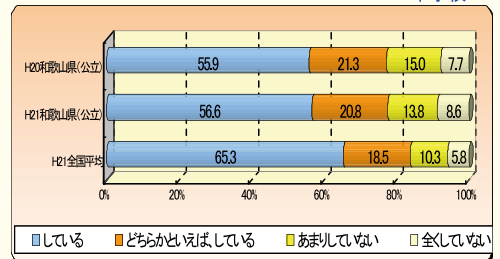
質問: 毎日、同じくらいの時刻に起きていますか
 小学校: 和歌山県



質問: 朝食を毎日食べていますか
 中学校: 和歌山県



質問: 学校に持って行くものを、前日か、その日の朝に確かめていますか
 中学校



「毎日同じ時刻に就寝し、同じ時刻に起きている」「朝食を毎日食べている」子どもの方が、正答率が高い傾向がみられます。また、「学校に持って行くものを事前に確かめている子ども」の方が正答率が高くなっています。全国と比べると和歌山県の中学生は学校に持って行くものを確認する割合が低くなっています。

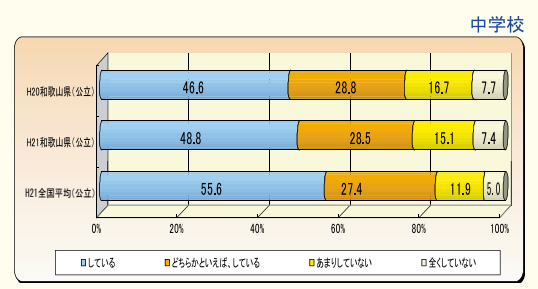
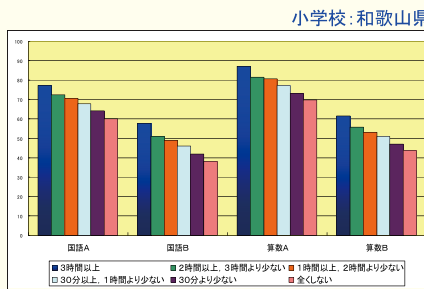
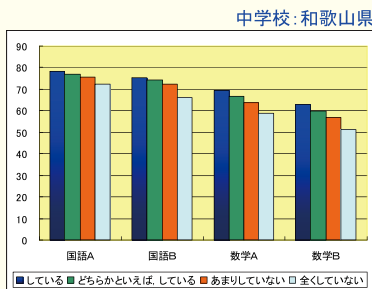
規則正しい生活習慣を身につけることは学習習慣の定着には欠かせません。

2 家庭での学習習慣を身につけましょう。

質問：家で学校の授業の復習をしていますか

質問：普段どれくらいの時間、勉強をしますか

質問：家で学校の宿題をしていますか



「家庭で復習をしている」子どもほど、正答率が高い傾向がみられます。「家庭での学校の授業の復習」など家庭での学習に関する項目はすべて、全国より低くなっています。また、家庭での普段の学習時間と正答率にも大きな関連があります。

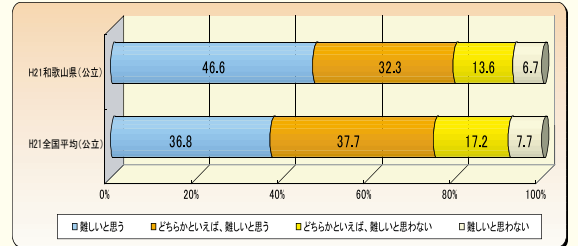
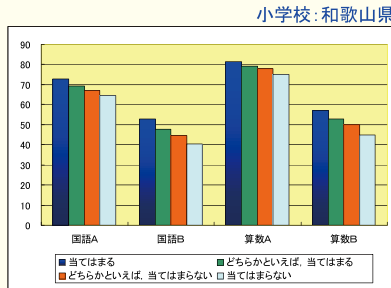
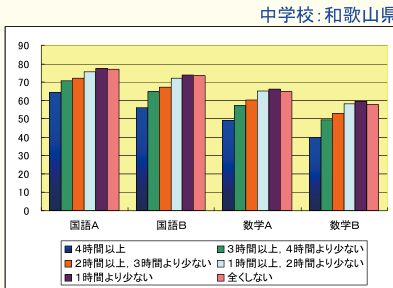
子どもが将来への目標を持ち、それに向けて努力していけるよう、励ましてあげることが大切です。

3 テレビやゲームの時間を減らし、本に親しみましょう。

質問：どのくらいの時間、テレビゲームをしますか

質問：読書は好きですか

質問：学校の授業などで、自分の考えを他の人に説明したり文章に書いたりするのは難しいと思いますか



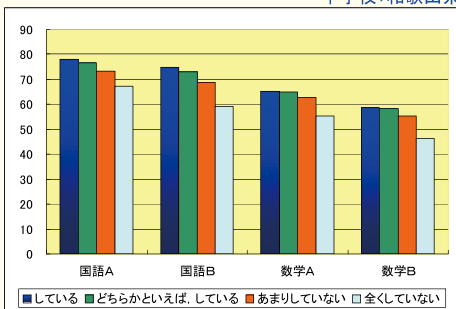
テレビゲームやインターネットをする時間が、全国と比べ長い傾向があります。テレビゲームに費やす時間が長いほど正答率が低い傾向がみられます。また、「読書が好きだ」という子どもほど正答率が高くなっています。テレビゲームやパソコンなどを使用する時間が長いほど他者とふれあったり、喜びを分かち合える割合が少ないと言われていました。また、本県では「自分の考えを他者に説明したり、文章で表現する」ことが難しいと感じている子どもの割合が非常に高くなっています。

ゲームなどの利用にはルールを設けて、読書をする機会の充実や読書の習慣化をはかることが大切です。

4 子どもとの対話を大切にしましょう。

質問：家の人と学校での出来事について話をしていますか

中学校：和歌山県



「家の人と学校での出来事について話をしている」子どもほど正答率が高い傾向がみられます。子どもは話をしても聞いてもらえなかったり、大人の考え方を押しつけられたりすると自分から話をしなくなることもあります。まず、一緒に温かいご飯を食べながら、雑談の中で子どもの気持ちを聞いてみませんか。

親が聴きたいことに無理矢理引き込むのではなく、子どもの話したい話題に親から近づいてみましょう。



このリーフレットのデータは、文部科学省が平成21年8月27日に公表した資料に基づいています。

今回の調査結果で測定できるのは、学校や生活のほんの一部です。ここにあげた事例が、どの子どもにも当てはまるとは限りません。しかし、子どもたちの学力を高め、生活習慣をよりよくしていくための大切な手がかりがあると考えます。なお、全国と和歌山県の詳しい調査結果をご覧になりたい方は、国立教育政策研究所のホームページの下記のURLにアクセスしてください。

(<http://www.nier.go.jp/09chousakekka/index.htm>)

PRINTED WITH SOY INK 再生紙を使用しています。